



## 第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

WS-06「それってバイオ？サイコ？大阪医大総診流 ココロの診療～初級編～」

### 【講師】

三澤 美和（大阪医科大学病院総合診療科）

鈴木 富雄（大阪医科大学病院総合診療科）

島田 史生（大阪医科大学病院総合診療科）

水谷 肇（大阪医科大学病院総合診療科）

関根 一臣（大阪医科大学病院総合診療科）

住友 嗣之（大阪医科大学病院総合診療科）

メンタルの問題を抱えた患者さんが精神科ではなくプライマリ・ケア医を訪れる機会は多い。有病率が全人口の13%とまで言われる慢性疼痛に関しても身体症状とともに、精神科ではなく最初はプライマリ・ケア医を受診し、その度に忙しい日々の外来の中で私たちは何らかの困難さや陰性感情を抱える。専攻医はまだ医師経験年数も少なく、特にメンタルの問題がからむ患者さんには難しさを感じることも多い。本当にメンタルと言えるのか？何か体の疾患を見逃していないか？メンタルだとしたら何が問題なのか？忙しい外来のなかでできることは？

身体症状や疼痛性障害に限らず、認知症、アルコール、うつや不安障害、発達、不眠、月経関連など一見困難な患者さんにも考えないといけない背景は多々ある。私たち総合診療医・家庭医には、できることがたくさんあるはず。このような患者さんと明日から少しでも楽に向き合うためのコツを、チーム大阪医大総診が送ります。